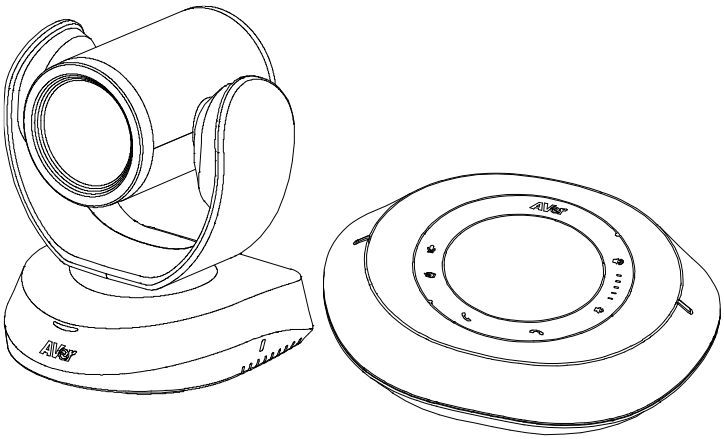
www.aver.com



# VC520 Pro3

## ユーザーマニュアル

## Federal Communications Commission Statement

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radiofrequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

**Warning:**
This is a class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

**この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。**

**VCCI-A**

| 사 용 자 안 내 문 |
| --- |
| 이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전자파간섭의 우려가 있습니다. |
| ※ 사용자 안내문은 "업무용 방송통신기자재"에만 적용됩니다. |

| 기종별 | 사용자안내문 |
| --- | --- |
| A 급 기기<br>(업무용 방송통신기자재) | 이 기기는 업무용(A 급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다. |

## 免責事項

本書の内容、品質、性能、商品性、特定目的への適合性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行いません。本書に記載されている情報は、信頼性を確保するために注意深くチェックされていますが、不正確な情報については責任を負いません。本書に含まれる情報は、予告なしに変更されることがあります。AVer Information Inc.は、たとえそのような損害の可能性を知らされていたとしても、本製品または文書の使用または使用不能から生じる直接的、間接的、特別、偶発的、または派生的な損害について、一切責任を負いません。

## 商標

「AVer」は AVer Information Inc.が所有する商標です。

本書で説明の目的のみに使用されているその他の商標は、各社に帰属します。

## 著作権

©2023 AVer Information Inc. 無断複写・転載を禁じます。本書のすべての権利は AVer Information Inc.に帰属します。いかなる形式、いかなる手段によっても、AVer Information Inc.の事前の書面による許可なく複製または転送することを禁じます。本資料に記載された情報は、予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 注意事項

本書に記載された仕様は予告なしに変更されることがあります。参考としてのみご利用下さい。

## 警告・注意

- ■ 火災や感電防止のため機器を雨や湿気にさらさないでください。
- ■ 人為的破損または不正な改造の痕跡が確認された場合、製品保証は無効になります。
- ■ カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- ■ カメラの損傷を防ぐため、正しい電源電圧を使用してください。
- ■ コードを踏むような場所に、カメラを置かないでください。端子が破損する可能性があります。
- ■ カメラの底面部を両手で持ち、カメラを移動させてください。
- ■ カメラを移動する際に、カメラ鏡筒部やカメラ回転部をつかまないでください。
- ■ カメラ通電時、カメラを手で動かさないで下さい。カメラ回転部故障の原因となります。

**リモコンの電池の安全性に関する情報**

- 電池は涼しく乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みの電池をゴミ箱に捨てないでください。 使用済み電池は各自治体に定められた廃棄方法で適切に廃棄してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。 電池の液漏れや腐食により、リモコンが損傷する可能性があります。
- 古い電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。
- アルカリ乾電池、標準電池（炭素亜鉛）、充電式電池（ニッケルカドミウム）など、さまざまな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を高温の場所や炎に近付けないでください。

−バッテリー端子をショートさせないでください。

## CAUTION

- Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
- Dispose of used batteries in a safe and proper manner.

**遥控器电池安全信息**

- 请将电池存放在凉爽与干燥的位置。
- 不要将电量用尽的电池弃置在家庭废弃物中。请将电池弃置在特定回收处，或送回原购买的商店。
- 如果长时间不使用电池，请将其取出。电池漏液与腐虫可能会损坏遥控器，请以安全方式弃置电池。
- 不可混用新旧电池。
- 不可混用不同类型的电池：碱性、标准（碳锌）或可充电（镍镉）电池。
- 不可将电池弃置于火源中。
- 请勿尝试让电池端子短路。

## More Help

FAQ、テクニカルサポート、ソフトウェア、ユーザーマニュアルのダウンロードについては、こちらをご覧ください

# 目次


**パッケージ同梱物** ..... 1

**製品概要** ..... 2

**各部名称** ..... 2

**カメラ LED 状態表示** ..... 2

**マイクスピーカーLED 状態表示** ..... 3

**増設マイクスピーカー/増設マイクの接続** ..... 4

**PHONE IN 端子の接続** ..... 5

**カメラ可動範囲** ..... 5

**マイクスピーカー集音範囲** ..... 6

**操作リモコン** ..... 7

**ショートカット操作** ..... 8

**機器の設置** ..... 9

**機器の配線** ..... 9

**RS-232 端子の接続** ..... 11

制御用 PC またはカメラコントローラーとの接続 ..... 12

カメラ制御配線をカスケード接続する ..... 15

壁取付マウント設置 ..... 17

**カメラの使用方法** ..... 20

**Web 会議用ソフトウェアでカメラを使用する** ..... 20

**ソフトウェア Room Management** ..... 20

**Web ブラウザからカメラ管理画面にアクセスする。** ..... 20

ソフトウェア AVer IPcam Utility を使用し、ネットワーク上のカメラを検出する ..... 20

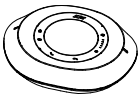
ソフトウェア AVer IPcam Utility をダウンロード ..... 20
**Web 管理画面 ..... 21**
**初回ログイン時の操作 ..... 21**
**Web 管理画面 ..... 22**
**PTZ 制御 ..... 23**
**カメラ設定 ..... 24**
カメラ表示ウィンドウ ..... 24
カメラ設定 ..... 24
画像設定 ..... 27
RS-232 設定 ..... 29
**ビデオ出力 ..... 30**
RTSP ..... 31
RTMP ..... 32
**ネットワーク設定 ..... 33**
**システム ..... 34**
**オーディオ ..... 36**

# パッケージ同梱物

## パッケージ同梱物



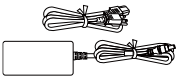
カメラ本体



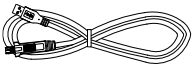
マイクスピーカー



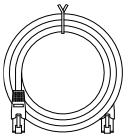
操作リモコン



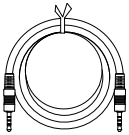
電源アダプタ
電源ケーブル



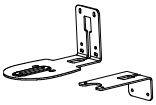
USB ケーブル
USB 2.0
Type-B Type-A （5m）



マイクスピーカー
接続用ケーブル
（10m）



3.5 mm ステレオミニケーブル（0.9m）



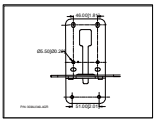
壁取付用マウント



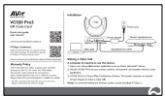
M4 ネジ x8mm
（x2）



固定ネジ 1/4”-20
L=7.5mm Screw
（x2）



マウント取付け用
穴あけガイド用紙

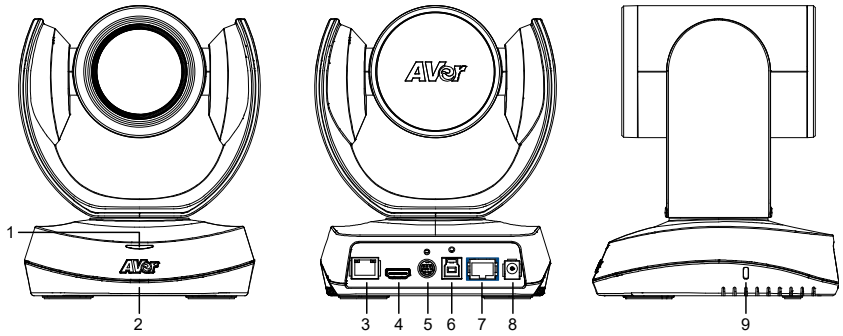


QR コードカード

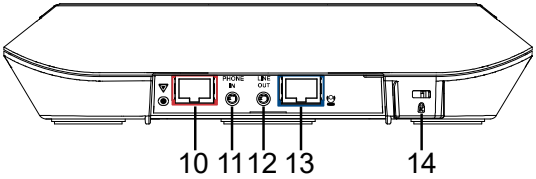
*電源ケーブルのコンセント端子形状は、販売される国や地域により異なります。

# 製品概要

## 各部名称




1 状態表示 LED
2 赤外線受光部
3 イーサネット端子
4 HDMI出力端子
5 RS-232 In/Out 端子
6 USB3.1 Type-B 端子
7 マイクスピーカー接続用端子(青)
8 電源差込口
9 ケンジントンロック取付穴

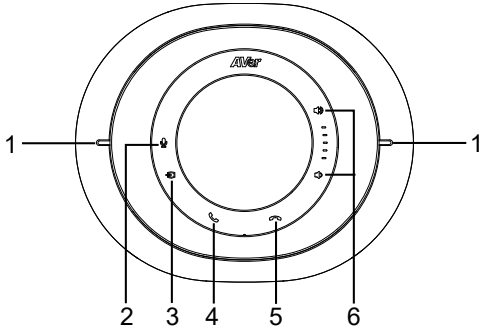



10 増設マイクまたは増設マイクスピーカー接続用端子(赤)
11 PHONE IN 端子
12 LINE OUT 端子
13 カメラ接続用端子 (青)
14 ケンジントンロック取付穴

## カメラ LED 状態表示

**電源オン:** 青点滅1回
**カメラ起動中:** 赤点灯
**ビデオ出力なし:** オレンジ点灯
**ビデオ出力中:** 青点灯

## マイクスピーカーLED 状態表示




| No. | | LED 状態 | 機器の状態 |
|---|---|---|---|
| 1. | 状態表示 LED | 赤点灯→白点灯 | 起動中 |
| | | 青点灯 | 電源オン状態 |
| | | オレンジ点灯 | 待機中 |
| | | 赤点灯 | マイク:ミュート中 |
| | | 青点灯 | マイク:使用中 |
| 2. | ミュート/ミュート解除 | 赤点灯 | マイク:ミュート中 |
| | | 青点灯 | マイク:使用中 |
| 3. | PHONE 入力 | 青点灯 | PHONE 入力デバイス使用中 |
| | | 白点灯 | PHONE 入力デバイス切断中 |
| | | 無点灯 | PHONE 入力デバイス接続なし |
| 4. | | 緑点灯 | 機能割当なし:使用しません。 |
| 5. | | 赤点灯 | 機能割当なし:使用しません。 |
| 6. | 音量調整ボタン / | 白点灯 | タッチ操作時<br>操作音と LED インジケーター青点灯 |
| | | 赤点灯 | 音量(−)長押しタッチ操作時、<br>スピーカー出力をミュート |

## 増設マイクスピーカー/増設マイクの接続

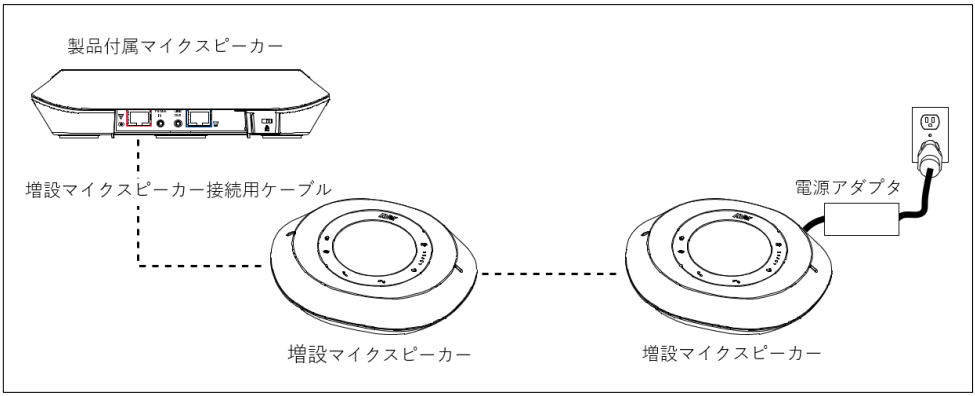
VC520Pro3はオプション品の増設マイクスピーカーまたは増設マイクを接続し、
集音範囲を拡張することができます。
（オプション品の購入については、弊社販売代理店までお問い合わせ下さい。）

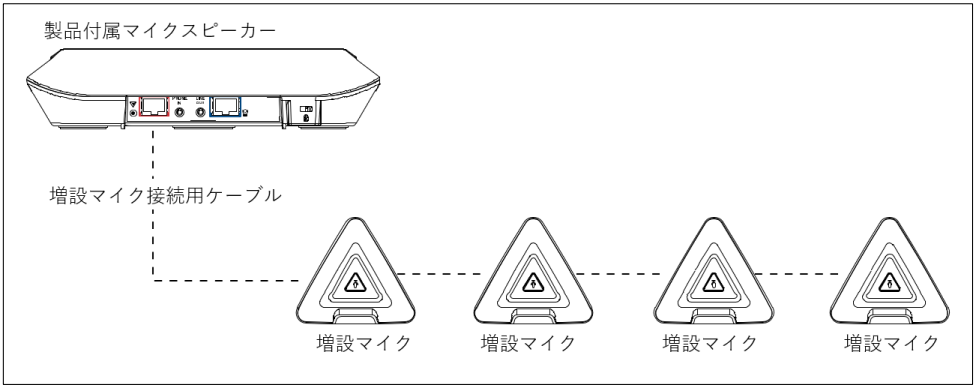
**増設マイクスピーカー使用要件:**

- **VC520 Pro3 ファームウェアバージョン: 0.0.9800.08 以降**

**[注意]**

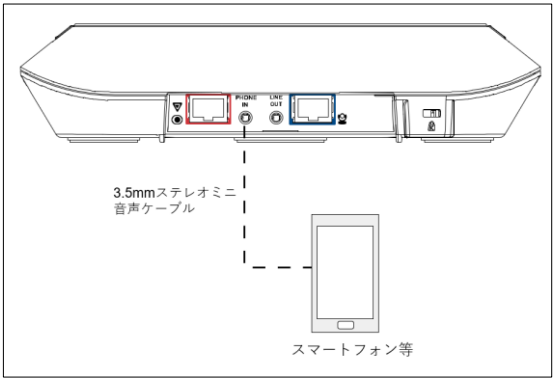
- VC520Pro3 は最大 2 台の増設マイクスピーカーを接続できます。
- カメラ本体と接続するマイクスピーカー/増設マイクスピーカーの合計ケーブル制限は 40m です。
- ケーブル長の合計が 20m を超える構成の場合、増設マイクスピーカー付属電源アダプタによる増設マイクスピーカーへの追加給電が必要です。
- カメラ本体のファームウェアを実施する場合は、増設マイクスピーカーを接続した状態で実施します。
- 増設マイクスピーカーは、VC520Pro3 付属マイクスピーカーとして使用できません。
- 増設マイクスピーカー・増設マイクの各製品パッケージには、接続用ケーブルが同梱されています。



## PHONE IN 端子の接続

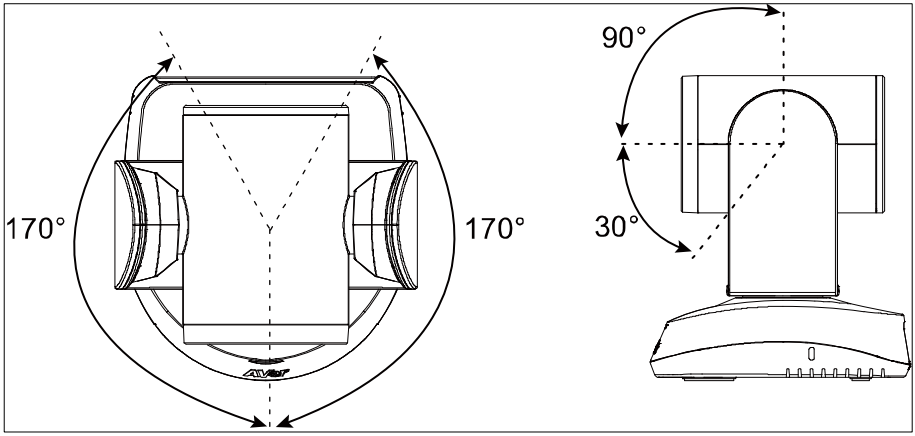
スマートフォンをマイクスピーカーPHONE IN 端子に接続時、ハンズフリースピーカーとして使用できます。
マイクスピーカーがデバイスの接続を検出時、アイコンが青点灯になります。
アイコン青点灯の状態にて、 アイコンをタッチ操作時、
デバイスとスピーカーフォンの接続が切断され、再度タッチすると接続が再開されます。




## カメラ可動範囲

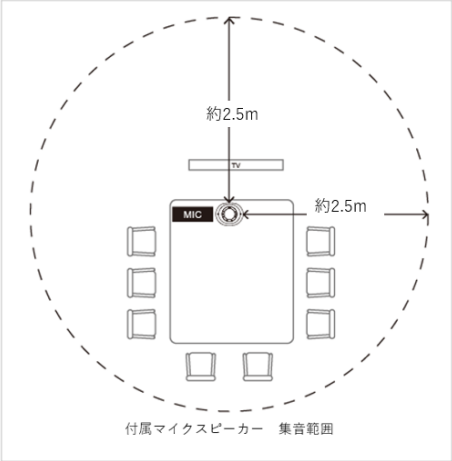
**※カメラ位置の調整は必ず、操作リモコンまたはソフトウェア Room Management から実施して下さい。**

**手動でカメラ位置を調整しないでください。カメラ回転部破損の原因となります。**

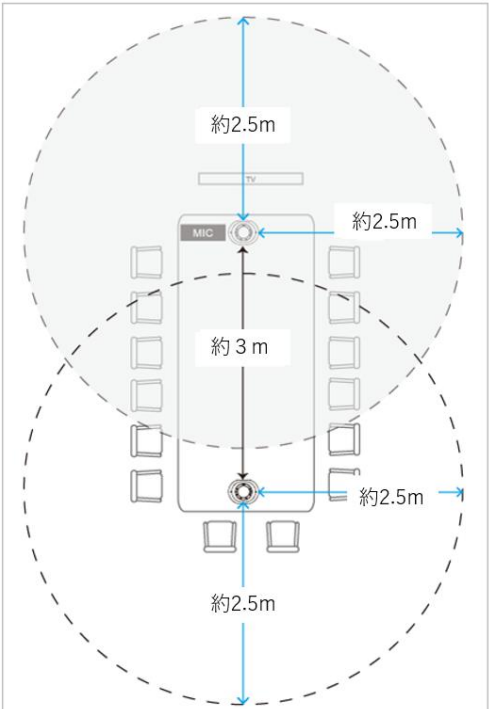


## マイクスピーカー集音範囲

マイクスピーカー1 台あたりの集音範囲は**半径約 2.5 m** です。
マイクスピーカーを 2 台以上接続する場合、マイクスピーカー同士を 3m 以上離した設置を推奨します。



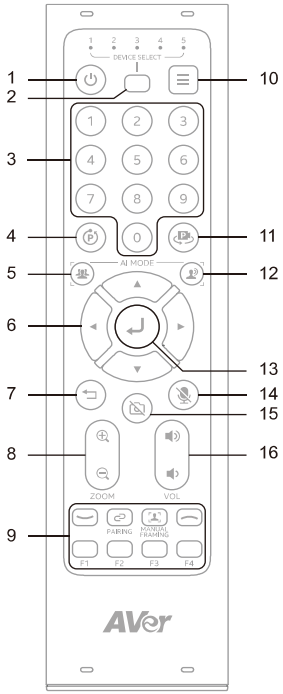
付属マイクスピーカー　集音範囲

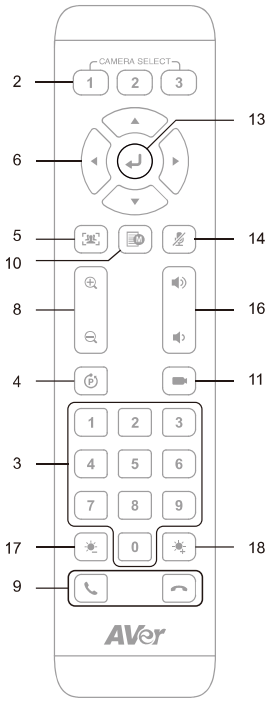


増設マイクスピーカーを使用する場合

# 操作リモコン

本製品には以下いずれかのリモコンが付属します。 同梱リモコンは出荷時期により異なります。




| ボタン名称 | ボタン機能 |
|---|---|
| 1. Power | -使用しません- |
| 2. カメラ選択 | デフォルト状態では、カメラ操作のための選択手順は不要です。<br>・カメラに番号を割り当てるには、Web UI または 設定ソフトウェア Room Management から **[設定]>[カメラ割当]**を開き、登録するカメラ番号を設定します。 |
| 3. 数字ボタン(0～9)<br>4. プリセットボタン | **・プリセットの保存:** ボタンを長押し後、数字キー(0～9)を押します。<br>**・プリセットの呼び出し:** ボタンを短く押し、数字キー(0～9)を押します。 |

| | |
|---|---|
| 5. Smart Frame | 押すと、画面上の人物に対して全体をフレーミングします。<br>長押しするとモードが順番に切り替わります。<br>Smart Frame アイコンを非表示にするには、Web 管理画面または設定ソフトウェア Room Management より<br>**設定** > **オンスクリーンメニュー** > **オフ**を選択します。 |
| 6. カメラ操作ボタン | カメラの首振り(上下左右)方向を操作します。 |
| 7. Back | -使用しません- |
| 8. ズームインアウト | カメラ映像を拡大・縮小します。 |
| 9. ファンクションキー | F2: 長押しで DHCP と固定 IP(Static IP)を切り替えます。<br>F1, F3 F4: -使用しません- |
| 10. メニューボタン | ・HDMI 出力時に押すと、メニュー画面を表示／非表示します。<br>・長押しすると、HDMI 画面の PIP レイアウトを選択できます。 |
| 11. 連続プリセット | 押すごとに、設定済みのプリセットを順番に呼び出します。 |
| 12. Audio Tracking | -使用しません- |
| 13. 決定ボタン | • 字幕(キャプション)に現在の AI 機能を表示します。<br>• メニュー画面操作時、選択項目を確定します。 |
| 14. Mute | マイクのミュート.ミュート解除 |
| 15. Camera Off | -使用しません- |
| 16. Volume | スピーカー音量を上げる/下げる |
| 17. 明るさ- | 映像の明るさを、暗くします |
| 18. 明るさ+ | 映像の明るさを、明るくします |

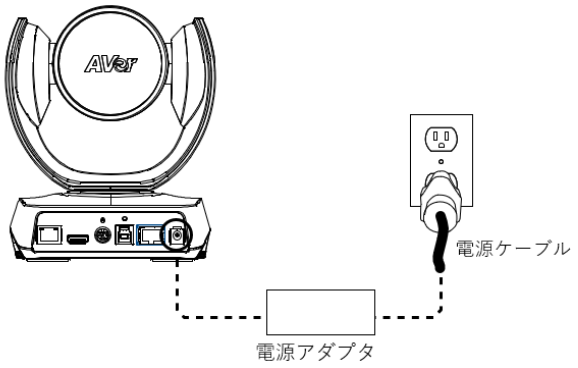
## ショートカット操作

| ボタン操作内容 | 呼び出す機能 |
|---|---|
| 1 2 秒長押し | ワイドダイナミックレンジ)のオン／オフを切り替え |
| 5 2 秒長押し | Smart Frame 機能のオン／オフを切り替え |
| 8 2 秒長押し | RTSP/RTMP が有効時、RTMP 配信のオン／オフ切り替え |
| 9 2 秒長押し | スリープモードに移行。 |
| 6 秒長押し | カメラを再起動。 |

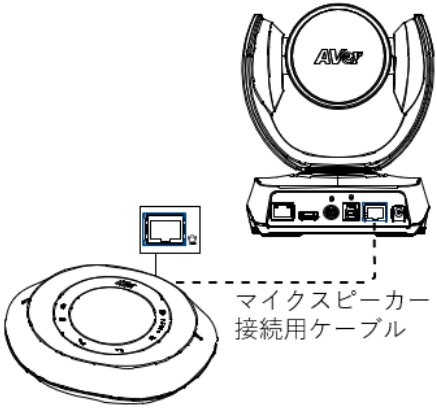
# 機器の設置

## 機器の配線

1. 製品付属電源アダプタをカメラ本体に接続。




2. 付属マイクスピーカーケーブルを使用し、カメラ本体とマイクスピーカーを接続。

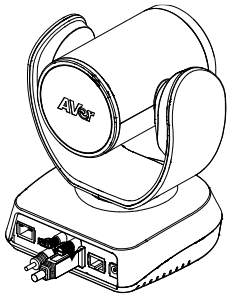


3. その他のケーブルをカメラに接続する

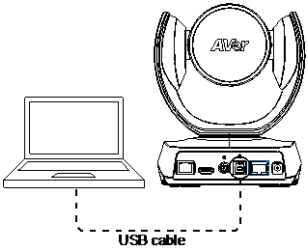
[注]

■ 付属 USB ケーブルのネジを使用し、ケーブルと本体を固定します。

■ ケーブルをねじで固定する前に、ケーブルが端子にしっかりと接続されているか確認してください。



4. USB ケーブルを Web 会議ソフトウェアを使用する PC と接続。



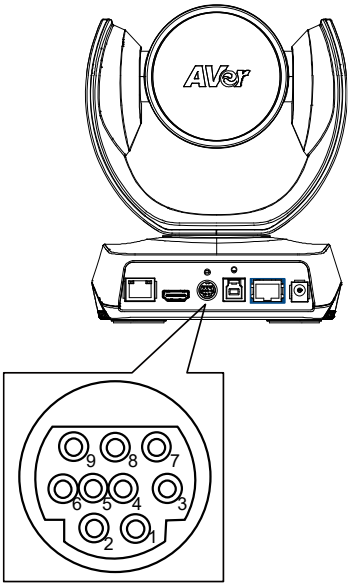

**[注意]**

- 製品同梱 USB ケーブルは USB2.0 です。
- **VC520 Pro3** カメラ本体の USB 3.1 端子は USB 2.0 下位互換で動作可能。
- USB2.0/USB3.1 動作時の最大解像度/最大フレームレート仕様

| | M-JPEG/fps | YUV/fps |
|---|---|---|
| USB 2.0 動作時 | 1080@60 fps | 720p@10 fps<br>480p@30 fps |
| USB 3.1 動作時 | 1080p@60 fps | 1080p@30 fps |

## RS-232 端子の接続

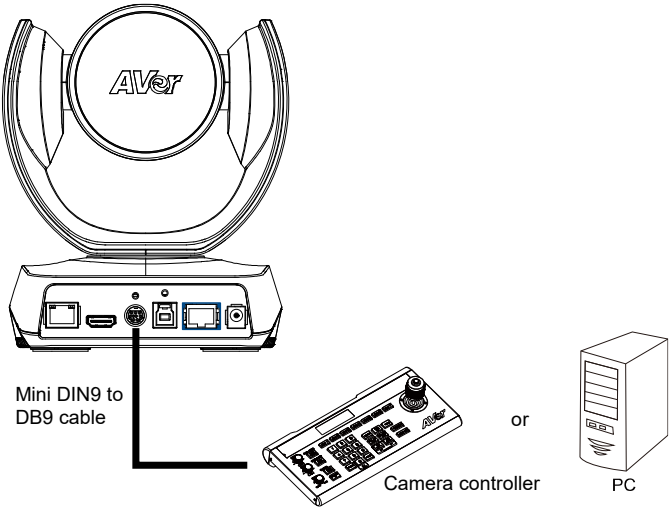
### ■ カメラ本体 RS232 端子ピン定義




| Function | Mini DIN9 PIN # | I/O Type | Signal | Description |
|---|---|---|---|---|
| VISCA IN | 1 | Output | DTR | Data Terminal Ready |
| | 2 | Input | DSR | Data Set Ready |
| | 3 | Output | TXD | Transmit Data |
| | 6 | Input | RXD | Receiver Data |
| VISCA OUT | 7 | Output | DTR | Data Terminal Ready |
| | 4 | Input | DSR | Data Set Ready |
| | 8 | Output | TXD | Transmit Data |
| | 9 | Input | RXD | Receiver Data |
| | 5 | --- | --- | Not connect |

## 制御用 PC またはカメラコントローラーとの接続

**RS232 アダプタケーブルを使用せずカメラと直接接続する場合、以下のピン接続を参照してください。**



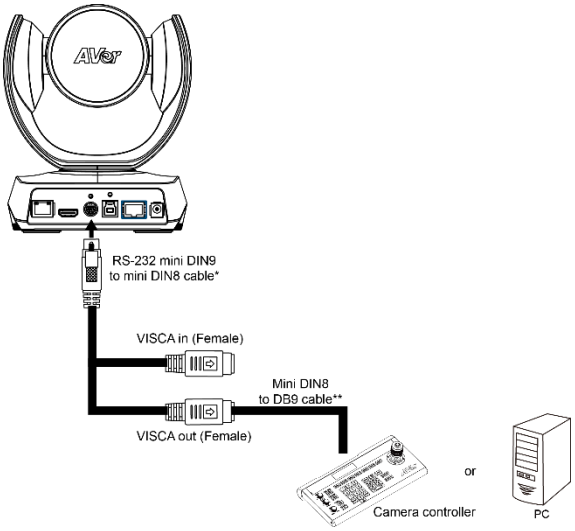

| Camera (Mini DIN9) | Camera controller or PC (DB9) |
|---|---|
| 1. DTR (IN) | 1. DCD |
| 2. DSR (IN) | 2. RXD |
| 3. TXD (IN) | 3. TXD |
| 6. RXD (IN) | 4. DTR |
| 7. DTR (OUT) | 5. GND |
| 4. DSR (OUT) | 6. DSR |
| 8. TXD (OUT) | 7. RTS |
| 9. RXD (OUT) | 8. CTX |
| | 9. RI |

**RS232 mini DIN9-mini DIN8 変換ケーブル(別売)を使用する場合**

コンピュータまたはキーボード/コントローラに接続するため RS232minDIN9-miniDIN8 アダプタケーブルを使用します。

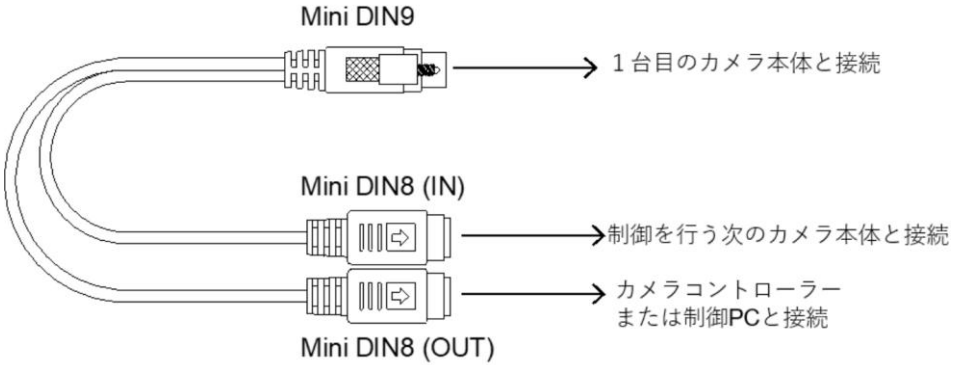
* RS232 mini DIN9-mini DIN8 ケーブル (PN: 064AOTHERCDC)

** Mini DIN8-D-Sub9 (DB9) ケーブル (PN: 064AOTHERBPK)

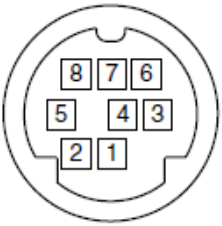



| Camera controller or PC (DB9) | | Camera (Mini DIN8) |
|---|---|---|
| 1. DCD | | 1. DTR (IN) |
| 2. RXD | | 2. DSR (IN) |
| 3. TXD | | 3. TXD (IN) |
| 4. DTR | | 4. GND (IN) |
| 5. GND | | 5. RXD (IN) |
| 6. DSR | | 6. GND (IN) |
| 7. RTS | | |
| 8. CTX | → | 1. DTR (OUT) |
| 9. RI | → | 2. DSR (OUT) |
| | → | 3. TXD (OUT) |
| | → | 4. GND (OUT) |
| | → | 5. RXD (OUT) |
| | → | 6. GND (OUT) |

***RS232 mini DIN9–mini DIN8 ケーブル・ピン定義**




**Mini DIN8 ピン定義**



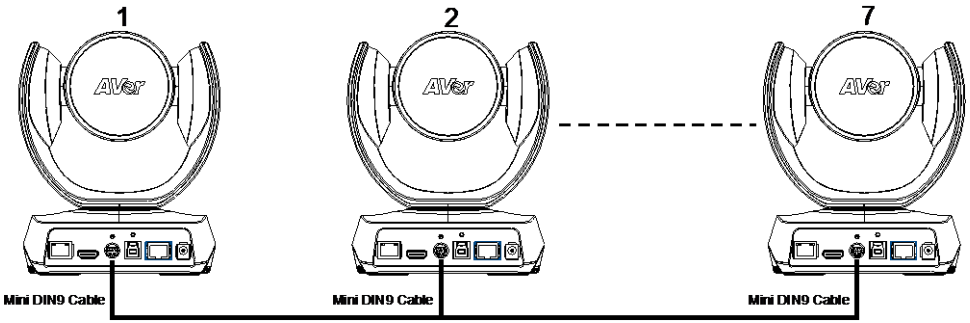

| No. | Pin |
|---|---|
| 1 | DTR |
| 2 | DSR |
| 3 | TXD |
| 4 | GND |
| 5 | RXD |
| 6 | GND |
| 7 | NC |
| 8 | NC |

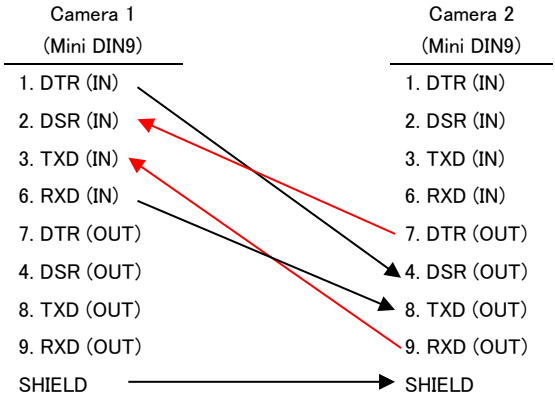
## カメラ制御配線をカスケード接続する

### カメラ同士を直接配線する場合

RS232 アダプタケーブルを使用しない場合、カスケード接続については以下ピン定義を参照してください。

合計で最大 7 台のカメラをカスケード接続することができます。



**RS232 mini DIN9-mini DIN8 ケーブルを使用する場合**

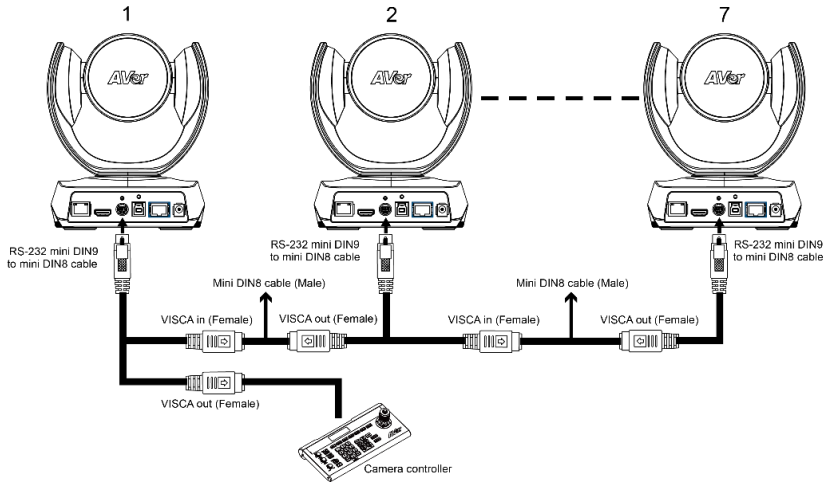
合計で最大 7 台のカメラを接続できます。

別売 RS232 アダプターケーブルを使用することで、カスケード接続を簡略化できます。

カメラと miniDIN9-miniDIN8 アダプターケーブルを接続します。

miniDIN8 メス側をオス miniDIN8 の VISCA ケーブル(非同梱)に接続し、

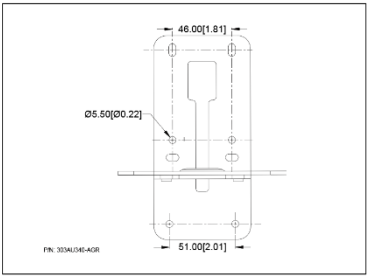
次に miniDIN9 を miniDIN8 アダプターケーブルに再度接続し、次のカメラへ配線します。




| Camera 1 (Mini DIN8) | Camera 2 (Mini DIN8) |
|---|---|
| 1. DTR (IN) | 1. DTR (IN) |
| 2. DSR (IN) | 2. DST (IN) |
| 3. TXD (IN) | 3. TXD (IN) |
| 4. GND (IN) | 4. GND (IN) |
| 5. RXD (IN) | 5. RXD (IN) |
| 6. GND (IN) | 6. GND (IN) |
| 1. DTR (OUT) | 1. DTR (OUT) |
| 2. DSR (OUT) | 2. DST (OUT) |
| 3. TXD (OUT) | 3. TXD (OUT) |
| 4. GND (OUT) | 4. GND (OUT) |
| 5. RXD (OUT) | 5. RXD (OUT) |
| 6. GND (OUT) | 6. GND (OUT) |

# 壁取付マウント設置

1. 製品同梱の穴あけガイドを使用し、マウントを取り付ける壁にドリルで穴を空けます。

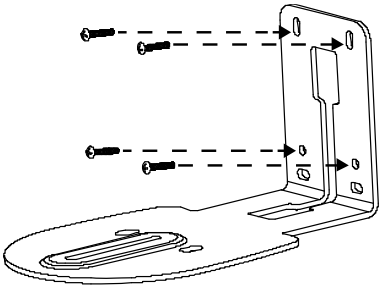



2. ネジ（非同梱）を使用し、金具 A を壁に固定します。

**■使用するネジ**

**・石膏ボードの場合: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x4) +プラスチックアンカー**

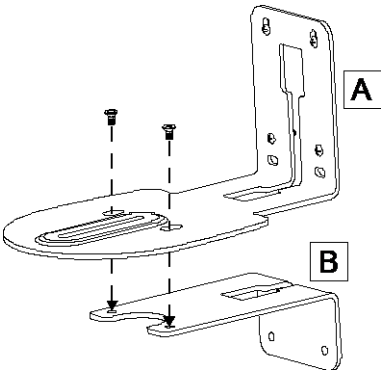
**・木製の場合: M4 x20mm セルフタッピングネジ (x4)**



3. 下記同梱ネジを使用し、金具[A] と金具[B] を組み合わせます。



M4 x8mm (x2)

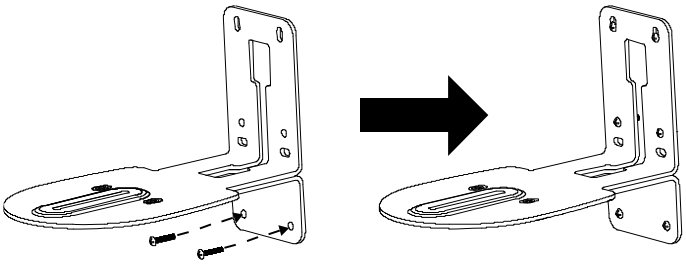



4. 金具[A] と金具[B] を組み合わせた後、ネジ（非同梱）を使用し金具 を壁に固定します。

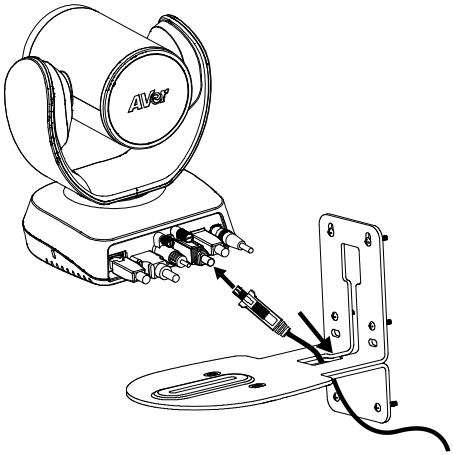
**■使用するネジ**

**石膏ボードの場合: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x2) +プラスチックアンカー**

**木製の場合: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x2)**



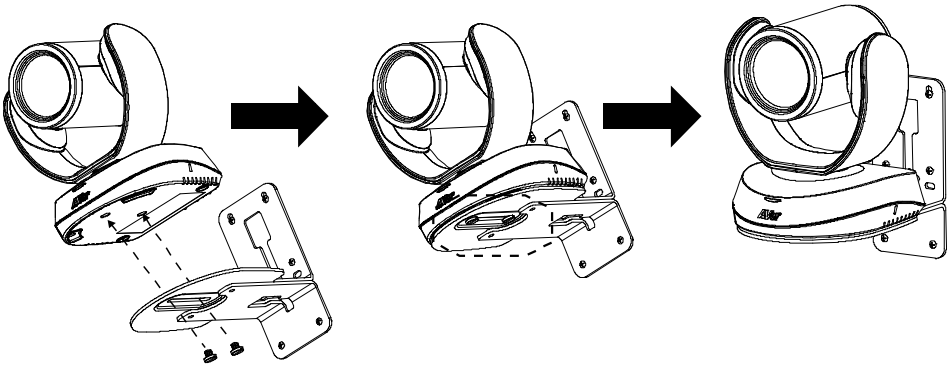
5. 配線するケーブルを壁固定マウントの配線用穴に通し、カメラ端子へ各ケーブルを接続します。



6. 製品同梱の下記ネジを使用し、カメラと壁取付マウントを固定します。



1/4”-20 L=7.5mm (x2)



# カメラの使用方法

## Web 会議用ソフトウェアでカメラを使用する

1. VC520 Pro3 のカメラ・マイクスピーカー・パソコンが正しく配線されているか確認します。
2. カメラを使用するソフトウェアを起動します。
3. ソフトウェアの設定で使用するカメラ・マイク・スピーカーを VC520 Pro3 に設定します。

[注] VC520 Pro3 はプラグアンドプレイで動作しますが、PC からカメラ操作や詳細設定、
ファームウェアの更新を行う場合は弊社ソフトウェア Room Management のインストールを推奨します。

## ソフトウェア Room Management

VC520 Pro3 と PC を USB ケーブルで接続した状態にて、ソフトウェア Room Management を起動し
VC520 Pro3 の IP アドレス設定の変更、カメラの各種設定を行うことができます。

https://www.aver.com/download-center

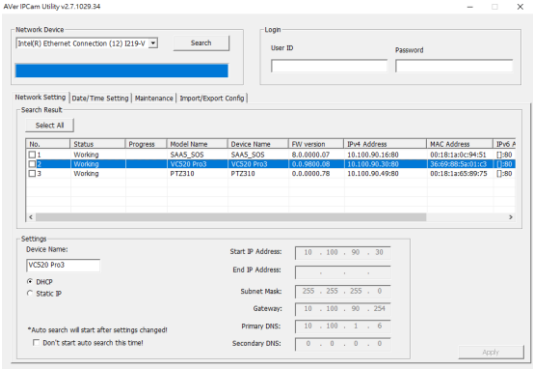
## Web ブラウザからカメラ管理画面にアクセスする。

VC520 Pro3 は、IP 通信用 LAN 端子(RJ45)を搭載しています。カメラが接続するネットワーク経由で PC の
Web ブラウザからカメラの遠隔操作・設定変更を行うことができます。

### ソフトウェア AVer IPcam Utility を使用し、ネットワーク上のカメラを検出する

**ソフトウェア AVer IPcam Utility をダウンロード**

1. **Search** をクリックすると接続ネットワーク上にあるカメラデバイスがリスト表示されます。
2. リスト上に表示された**VC520 Pro3** を選択しカメラのIPアドレスを表示します。
3. カメラのリストをダブルクリックすると自動的にWebブラウザが立ち上がり、ログイン画面が表示されます。
4. 初回ログイン時、デフォルトパスワード **aver4321** を入力します。
5. 入力後、新しいID・パスワードへの設定変更を行う画面が表示されます。
6. 任意のID/パスワードを設定します。
7. 新しいID・パスワードをログイン画面に入力し、Web管理画面へログインします。



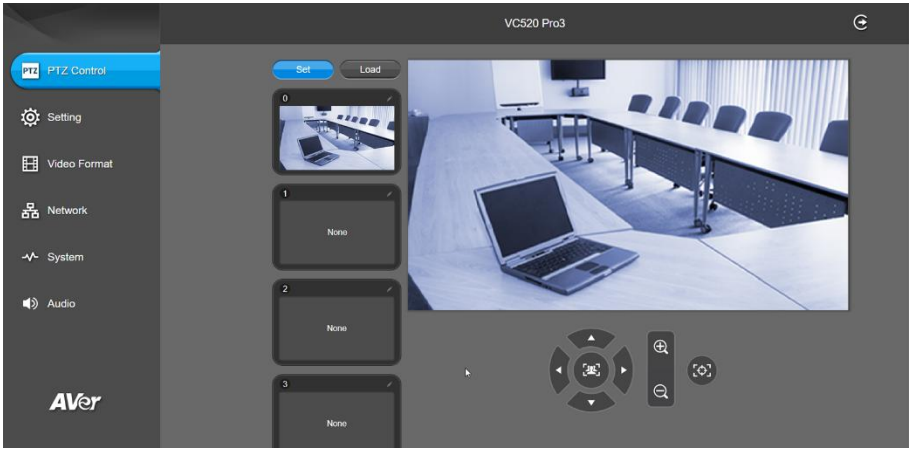
# Web 管理画面

VC520 Pro3 は、IP 通信用 LAN 端子(RJ45)を搭載しています。カメラが接続するネットワーク経由で PC の Web ブラウザからカメラの遠隔操作・設定変更を行うことができます。

## 初回ログイン時の操作

1. カメラと同じネットワークに接続された PC で Web ブラウザを開き、カメラの IP アドレスを入力します。
2. 初回ログイン時、デフォルトパスワード **aver4321** を入力します。
3. 入力後、新しい ID・パスワードへの設定変更を行う画面が表示されます。
4. 任意の ID/パスワードを設定します。※
5. 新しい ID・パスワードをログイン画面に入力し、Web 管理画面へログインします。

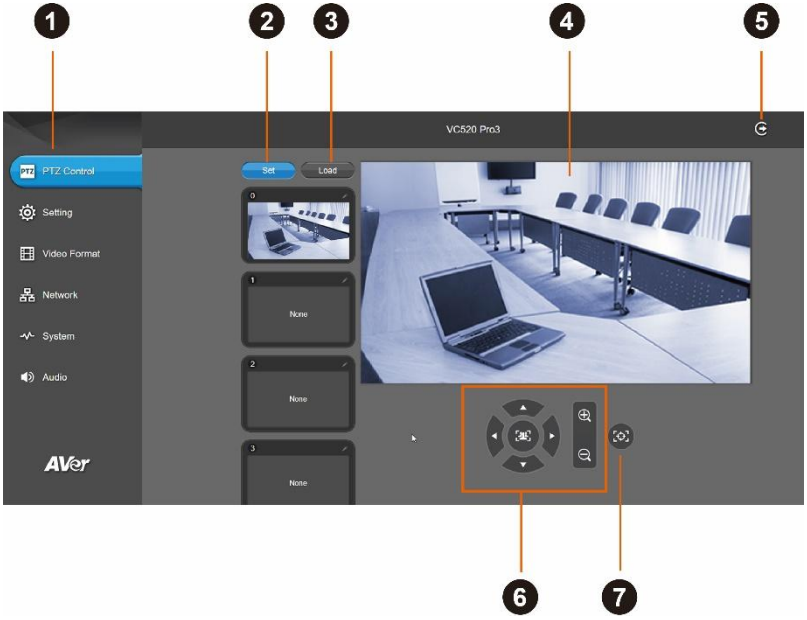
【注意】
※ログインに使用する新しい ID とパスワードは **8 文字以上～10 文字以内、大文字・小文字・数字・特殊文字を最低 1 文字含む**必要があります。
※ログインに使用する新しい ID とパスワードは**同じ値を使用できません。異なる値を入力してください。**
※特殊文字は右の記号のみ使用できます **！％＋＝，－＿＾／＠．~ ＃＄**




.

## Web 管理画面

カメラの方向制御、カメラ設定、ビデオフォーマットなどを設定できます。
※Web ページの無操作状態が 4 時間以上経過した場合、自動的にログアウトします。
※ライブ画面の解像度は 840x480/10fps です。（映像出力のみ・マイク音声なし）



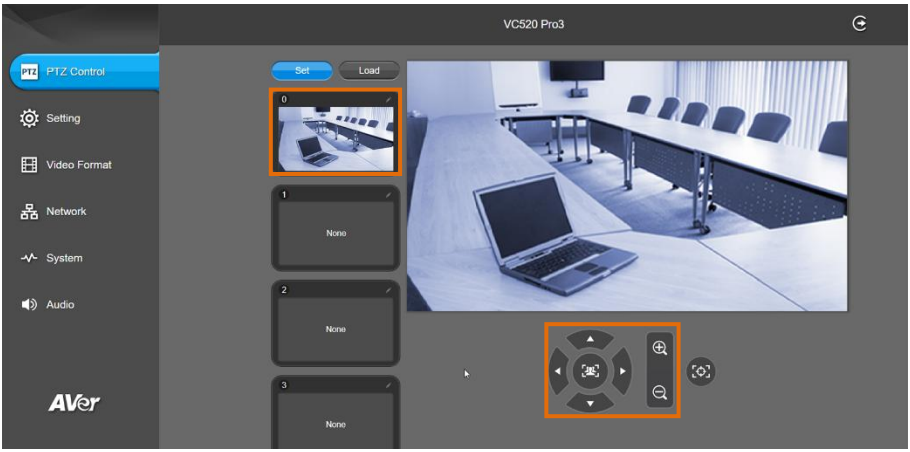

| 項目 | | 機能内容 |
|---|---|---|
| 1 | Menu | 各設定項目を表示します。 |
| 2 | プリセット保存ボタン | プリセット保存を行うモードです。<br>● プリセット保存時のカメラ位置がサムネイル表示されます。<br>● 鉛筆アイコンをクリックし、プリセット名を入力します。 |
| 3 | プリセット呼出ボタン | プリセットの呼出を行うモードです。 |
| 4 | カメラライブ映像表示 | カメラのライブ映像が表示されます※音声は出力されません。 |
| 5 | ログアウト | Web 管理画面からログアウトします |
| 6 | カメラ操作ボタン | カメラの PTZ 操作、ズームイン、ズームアウト操作を行います<br>● ▲▼◀ ▶:上下左右操作ボタン<br>● : SmartFrame 実行ボタン<br>● : ズームイン・アウト実行ボタン |
| 7 | ワンショットフォーカス | 被写体へのフォーカスを 1 度のみ実行します |

## PTZ 制御

カメラのコントロール、最大 10 個のプリセットポジションの設定とリセット、プリセットポジション名の編集などが可能です。

**プリセット(カメラ位置)を登録する:**

1. ▲, ▼, ◀, ▶ボタン、ズームボタンを使用し登録したいカメラ位置へ調整します。
2. 0～9 の保存したい番号をクリックし、プリセットを登録します。
   登録完了後、下図オレンジ枠のように登録時のカメラ位置がサムネイルで表示されます。




3. 鉛筆アイコンをクリックすると、各プリセットの名称を入力することができます。
4. プリセット登録後、登録したプリセットの呼出が可能になります。
   **Load をクリックし設定済みのプリセットサムネイルをクリックすると、登録したプリセットが呼出されます。**



## カメラ設定

カメラの各種設定、RS232 制御の設定を行うことができます。

**カメラ表示ウィンドウ:**

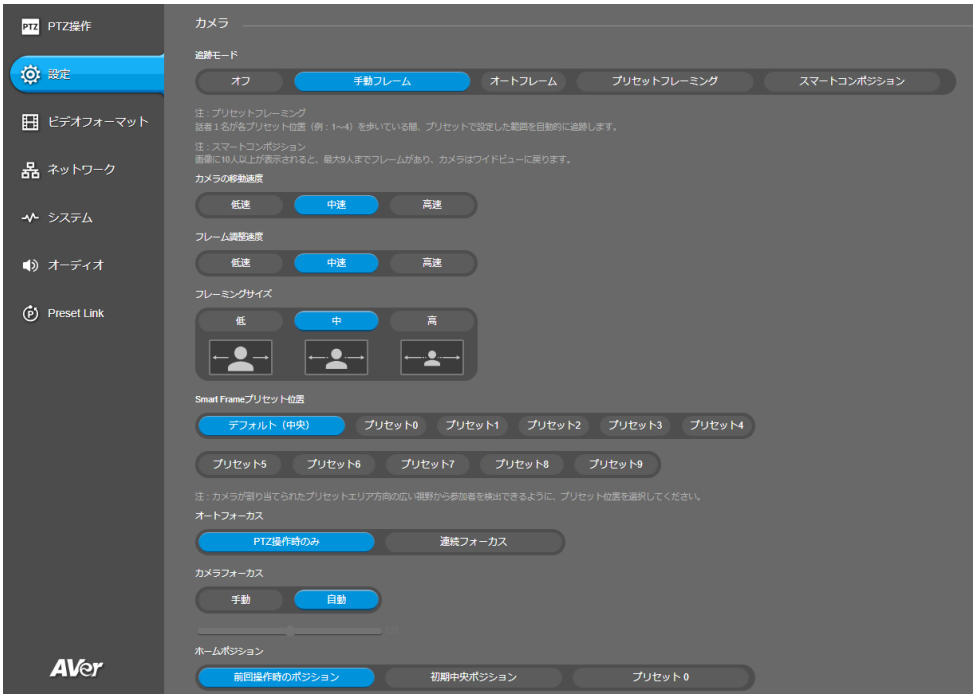
カメラの設定中、カメラのライブ映像を表示することができます。

アイコン横には、カメラ映像内の人数が表示されます。

アイコン横にはカメラが映像出力を開始からの経過時間が表示されます。




## カメラ設定



| 項目 | 内容 | 選択項目 |
| --- | --- | --- |
| 追跡モード | 使用する追跡モードを選択 | ● **オフ**: 追跡モード無効<br>● **手動フレーム**: スマートフレームボタンを押した場合のみ、自動画角調整機能が有効になります。<br>● **オートフレーム**: カメラが人物を検出した場合、自動的に自動画角調整を行います。選択したフレーム調整速度に応じて人の動きや形を検出し、人物全員がカメラ映像内に収まるよう自動的にパン・チルト・ズームを行います。<br>*デフォルトでは中速に設定されています。1 名に追従するような使用方法の場合は高速を推奨します。<br>● プリセットフレーミング: 設定したプリセット範囲に人が検出された場合、自動的にプリセットを呼出するモードです。 ※プリセット 1~9 に設定できます。プリセット 0 はホームポジションになります。).<br>● **Smart Composition**: カメラ上で検出された人物を自動的に等分割表示するモードです。最大 6 人まで分割表示が可能です。 |
| カメラの移動速度 | カメラ PTZ 操作時のスピードを調整 | ● **低速**<br>● **中速**<br>● **高速** |
| フレーム調整速度 | カメラ映像上に人物が静止した状態からの自動画角調整を行う速度を選択 | ● **低速**: 約 5 秒後に、自動画角調整を実行<br>● **中速**: 約3秒後に、自動画角調整を実行<br>● **高速**: 約1秒後に、自動画角調整を実行 |
| フレーミングサイズ | 自動画角調整を実行する際の、被写体に対する撮影範囲を選択 | ● 低: 人物に対し最接近した画角 (デフォルト).<br>● 中: 人物に対しやや離れた画角<br>● 高: 人物に対し離れた画角 |
| Smart Frame プリセット位置 | Smart Frame(画角自動調整)を開始するプリセット位置を設定 | ● デフォルト(中央): カメラは中央の初期位置から SmartFrame を実行<br>● **プリセット 0~9**: 指定したプリセット位置から SmartFrame を実行 |
| Auto Focus | オートフォーカス動作選択 | ● **PTZ 操作時のみ**: カメラのパン・チルト・ズーム操作を行った場合にのみオートフォーカスを実行<br>● **連続フォーカス**: 常時オートフォーカスを実行 |

| | | |
|---|---|---|
| カメラフォーカス | カメラフォーカスの自動・マニュアル切り替え | ● 手動: 下のスライドバーを使用し、手動でフォーカス調整を行います<br>● 自動: 自動的にカメラフォーカスを調整します。 |
| ホームポジション | 電源オン時のカメラ位置(ホームポジション)を設定 | ● 前回操作時のポジション: 前回終了時に記録されたカメラ位置を呼出します<br>● 初期中央ポジション:カメラ中央位置を呼出します。<br>● **Preset 0**: Preset 0 に登録したカメラ位置を呼出します。 |
| スリープ位置 | 設定したスリープタイマー時間が経過後しスリープ状態時のカメラ位置を設定 | ● 初期ポジション: スリープ時、カメラは正面左下に移動します。<br>● **Preset 9**: スリープ時、Preset 9 に登録したカメラ位置を呼出します。 |
| スリープタイマー | スリープに入るまでのタイマー時間を設定<br>**[注]**. USB 出力または RTSP/RTMP 出力時、スリープは無効になります。 | ● オフ<br>● 10 秒<br>● 5 分<br>● 10 分<br>● 20 分 |
| オンスクリーンメニュー | 画面上に表示されるアイコン・メッセージの表示/非表示切り替え | ● **オフ**: 画面上に表示されるアイコン・メッセージを非表示にします<br>● オン: 画面上に表示されるアイコン・メッセージをすべて表示します<br>● **プリセットオフ**:プリセット呼出中のみ画面上に表示されるアイコン・メッセージを非表示にします |
| カメラ割当<br>(リモコン赤外線チャンネル変更) | カメラ操作を行う赤外線リモコンのチャンネルを設定。 | ● オフ (デフォルト)<br>● Camera 1<br>● Camera 2<br>● Camera 3<br>※複数のカメラを1つの赤外線リモコンで操作する場合のみ、設定を変更してください。 |
| プリセット保存 | カメラへのプリセット保存を有効または無効に設定。<br>※無効に設定した場合、赤外線リモコン・ホットキー・VISCA 制御・Web 管理画面からプリセットを登録/呼び出しできない状態になります。 | ● オフ<br>● オン |

## 画像設定



| 項目 | 内容 | 選択項目 |
| --- | --- | --- |
| フリップ（上下反転） | カメラから出力される映像の上下反転を有効・または無効にします。<br>カメラを上下反転した状態で天井に取り付ける場合は本項目をオンに設定してください。 | ● オフ<br>● オン |
| ミラー(左右反転) | カメラから出力される映像の左右反転を有効・または無効にします。 | ● オフ<br>● オン |
| WDR<br>（ワイドダイナミックレンジ） | 逆光環境下での明るい場所に対して、ビデオの鮮明さを改善します。<br>※WDR 有効時、ビデオのフレームレートは最大 30fps に制限されます。<br>※通常の環境で本モードを有効にしないでください。ビデオ内にブラーが発生する場合があります。<br>※WDR 有効時、手動での明るさ調整は無効になります。<br>※WDR 有効場合、フリッカー低減機能は無効になります。 | ● オフ<br>● オン |

| | | |
|---|---|---|
| モニターのフリッカー低減 | デジタルモニタ撮影時のちらつき軽減機能の有効または無効 | ● オフ<br>● オン |
| 周波数 | 電源周波数の切り替え | ● 50 HZ<br>● 60 HZ |
| ホワイトバランス | ホワイトバランスのモード選択 | ● 手動: 下のスライダーを使用し手動調節<br>● **AWB**: 自動調整型(AWB)オートホワイトバランス<br>● **ATW**: 自動追尾型(ATW)オートホワイトバランス |
| ノイズリダクション | ノイズ低減機能の強度選択 | ● オフ<br>● 低<br>● 中<br>● 高 |
| 明るさ | カメラ映像のブライトネス(明るさ)を調整 | ● レベル 1～9 |
| シャープネス | .カメラ映像のシャープネス強度を調整 | ● オフ<br>● 低<br>● 中<br>● 高 |
| 彩度 | カメラの彩度レベルを調整. | ● レベル 1～9 |
| 低照度補正 | 低照度補正機能のオン/オフ切り替え | ● オフ<br>● オン |
| 低解像度モード | 低解像度を有効または無効にすると、システムは自動的に再起動します。(約 20～60 秒) | ● 無効<br>● 有効 |
| 最大 36 倍ズーム | 最大ズーム倍率の切り替え<br>有効時:最大 36 倍<br>無効時:最大 24 倍 | ● 無効<br>● 有効 |
| ビデオ/フレームレート | カメラのビデオフレームレートを切り替えます。設定が変更されると、カメラは再起動します(約 20～60 秒)。 | ● 30 FPS<br>● 60 FPS |

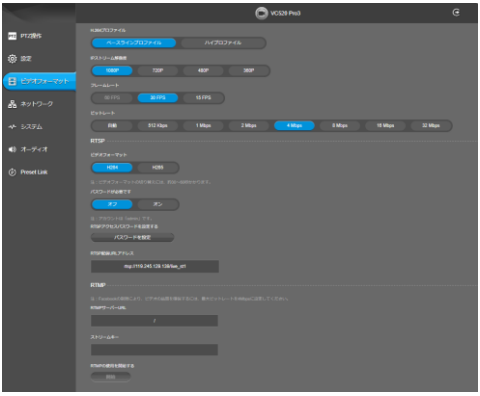
## RS-232 設定

VC520 Pro3 と PTZ カメラコントローラを RS-232 で接続する場合、以下の設定を行います。

| 項目 | 内容/選択項目 |
| --- | --- |
| ADDR | ADDR ポート を 1 ～ 8 から選択します。 |
| Baud Rate | ボーレートを選択します<br>● 2400<br>● 4800<br>● 9600<br>● 115200 |
| Protocol | 通信に使用するプロトコルを選択します。<br>● VISCA<br>● Pelco-P<br>● Pelco-D |
| VISCA Over IP | ViscaOverIP を有効または無効に設定します。 |

# ビデオ出力

IP ビデオ出力(RTSP/RTMP)の各種設定を行います。



| 項目 | 内容/選択項目 |
|---|---|
| H.264 プロファイル | H.264 ビデオ出力時の圧縮方式を選択:<br>● ベースライン<br>● ハイプロファイル |
| IP ストリーム解像度 | IP ビデオ出力時のビデオ解像度選択（USB 出力解像度には反映されません。）<br>● 1080P<br>● 720P<br>● 480P<br>● 360P<br>**[注意]** USB 出力が既に 1080p/30fps で使用されている場合、<br>IP ビデオ出力（RTSP）の解像度は最大 720p/30fp に制限されます。 |
| フレームレート | IP ビデオ出力時のビデオ　フレームレート選択<br>● 60 FPS<br>● 30 FPS<br>● 15 FPS. |
| ビットレート | IP ビデオ出力時のビデオビットレート選択<br>● 自動<br>● 512 Kbps<br>● 1 Mbps<br>● 2 Mbps<br>● 4 Mbps<br>● 8 Mbps<br>● 16 Mbps<br>● 32 Mbps. |

## RTSP

**RTSP プレイヤーにカメラを接続:**

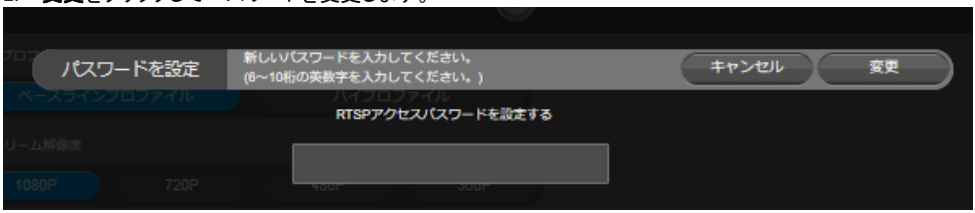
1. アプリケーションのウェブページに表示されている RTSP URL（例：VLC、PotPlayer、Quick Time）をコピーし、RTSP URL 欄に貼付。
2. ビデオフォーマットを H264 と H265 の間で選択します。ビデオフォーマットの切り替えには約 30~60 秒かかります。
3. “RTSP アクセスパスワードを設定する”の項目でオン/オフを選択し、RTSP を開く際のパスワード入力を有効/無効にします。




**RTSP パスワードを変更する:**

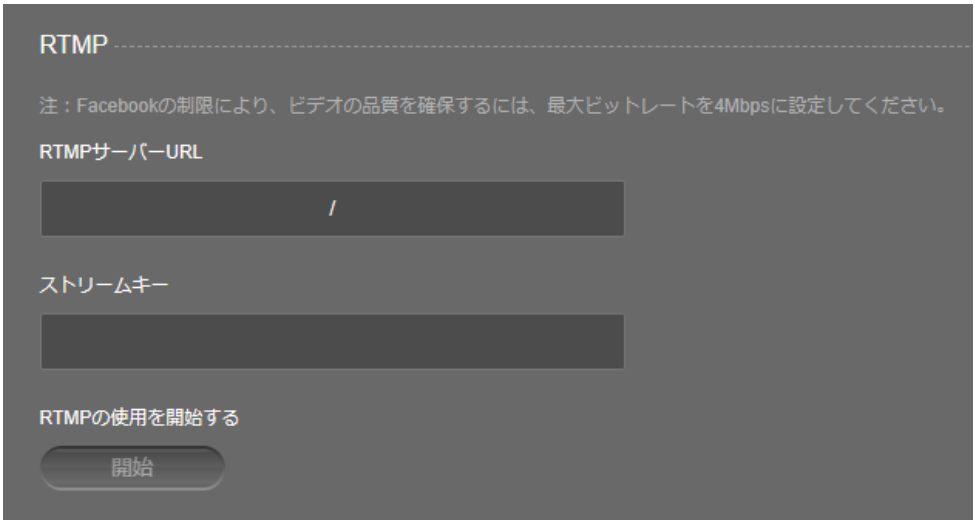
1. **ビデオフォーマット** > **RTSP** > **RTSP アクセスパスワードを設定する**> **パスワードを設定**.をクリック
   新たに使用するパスワードを入力

2. **変更**をクリックしてパスワードを変更します。



## RTMP

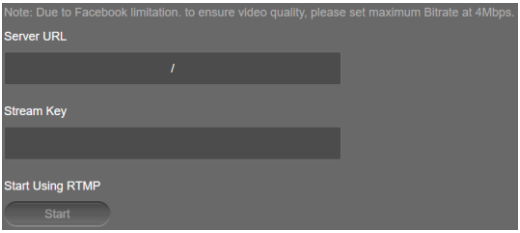
**カメラのライブ映像を配信プラットフォーム（YouTube など）へ配信する：**




1. **ビデオフォーマット** > **RTMP** へ進みます。

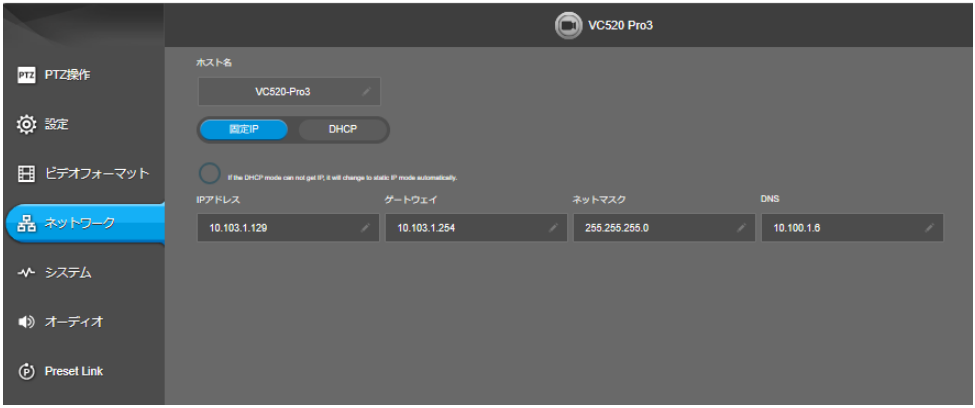
2. 配信プラットフォームから取得した RTMP サーバーの URL とストリームキーをコピーし、サーバーURL とストリームキーの欄に貼り付けます。

3. （開始）をクリックすると、RTMP 配信を開始します。
4. （停止）をクリックすると、 RTMP 配信を停止します。



## ネットワーク設定

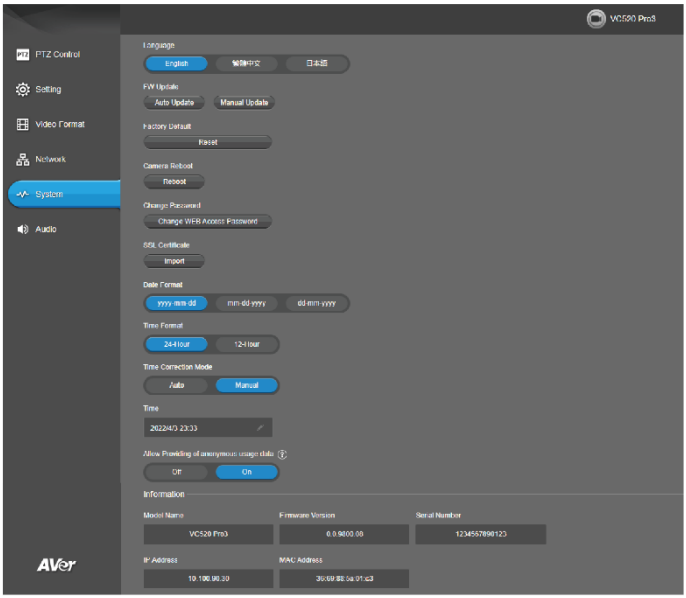
カメラが使用するホスト名、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS を設定します。




| 項目 | 内容/選択項目 |
|---|---|
| ホスト名 | 本デバイスで使用するホスト名を入力。<br>（入力文字は数字、またはアルファベットのみ使用可). |
| 固定 IP | カメラに固定 IP アドレス割当を行うモードです。<br>IP アドレスを編集するには、鉛筆アイコンをクリックします。<br>● IP アドレス<br>● ゲートウェイ<br>● サブネットマスク<br>● DNS サーバー<br>各入力項目に使用する IP アドレスを入力後、（適用）をクリックして設定を保存します。 |
| DHCP | DHCP を有効にします。<br>DHCP サーバーから自動取得された IP アドレスが自動的に入力されます。<br>IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS は編集できません。 |

## システム

使用言語の選択、ファームウェア更新、初期化設定などを行います。

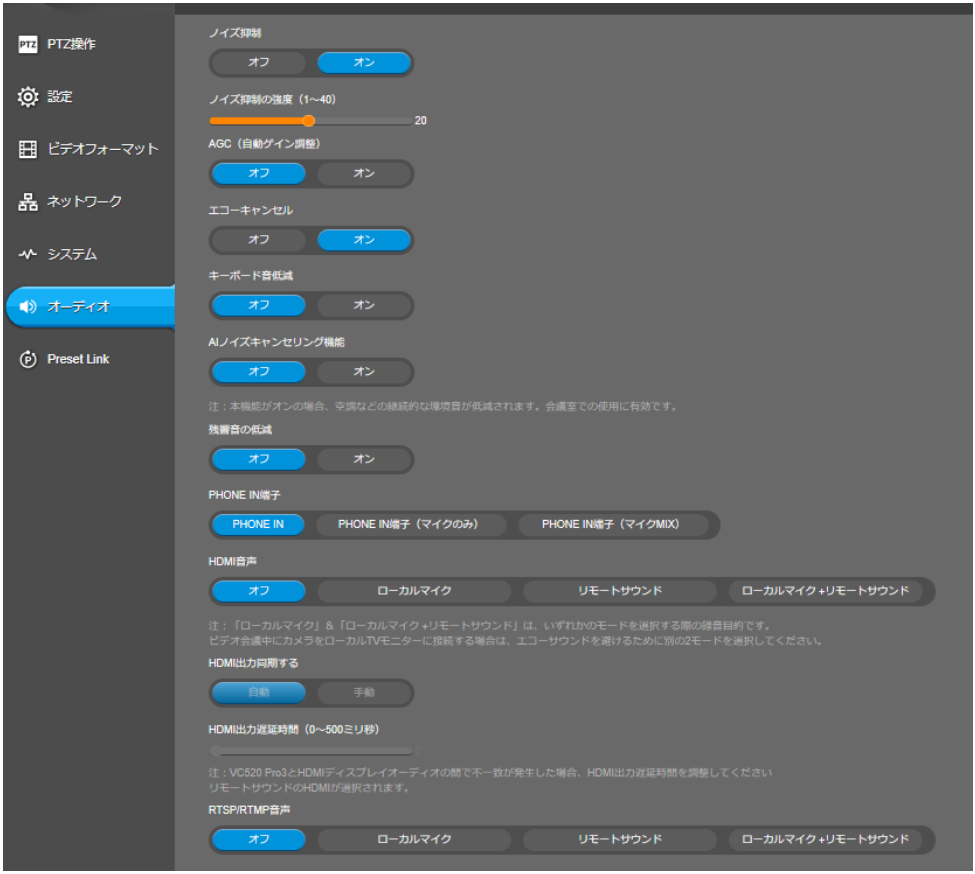



| 項目 | 内容/選択項目 |
|---|---|
| 言語 | システム言語を英語、繁体字中国語、日本語から選択。 |
| ファームウェア更新 | ファームウェア更新方法を選択。<br>● 自動更新<br>● 手動更新 |
| 工場出荷時の値に戻す | **「工場出荷時へ初期化」** をクリックすると設定が初期化されます。 |
| カメラ再起動 | **「再起動」**をクリックするとカメラが再起動します。 |
| パスワード変更 | Web 管理画面へログインするパスワードを初期化します。 |
| SSL 証明書 | **「インポート」**をクリックするとインポートする証明書ファイルの選択画面が表示されます。ファイル選択後、SSL 証明書のアップロードが開始されます。 |
| 日付形式 | 表示に使用する日付形式を選択します。:<br>● yyyy-mm-dd<br>● mm-dd-yyyy<br>● dd-mm-yyyy |

| | |
|---|---|
| 時刻形式 | 表示に使用する時刻形式を選択します。<br>● 24 時間表記<br>● 12 時間表記 |
| NTP を有効にする | NTP サーバーによる時刻自動取得の有効・無効を設定します。<br>● **自動**: NTP サーバーからタイムゾーン・現在時刻を自動取得します。<br>● 手動: 手動で現在の時刻を入力し「適用」をクリックし設定を保存します。 |
| 匿名利用データの提供を許可する | AVer の製品とサービス・品質向上のため匿名利用データの送信を許可または停止を選択します。<br>匿名利用データの詳細は弊社プライバシーポリシーをご覧ください。<br>https://www.aver.com/privacy |
| 情報 | カメラ本体の情報が表示されます:<br>● モデル名<br>● ファームウェアバージョン<br>● シリアル番号<br>● IP アドレス<br>● MAC アドレス |

## オーディオ

ノイズ抑制、自動ゲインコントロール、エコーキャンセラーなどのオーディオ設定を行います。




| 項目 | 内容/選択項目 |
|---|---|
| ノイズ抑制 | ノイズ低減機能を有効または無効にします。<br>下のスライダーをドラッグして値を調整します(1~40) |
| AGC（自動ゲイン調整） | AGC（Auto Gain Control）を有効または無効にします。 |
| エコーキャンセル | エコーキャンセル機能を有効または無効にします。 |
| キーボード音低減 | キーボード入力音の低減機能を有効または無効にします。 |
| AI ノイズキャンセリング | バックグラウンドノイズの除去を有効または無効にします。 |
| 残響音の低減 | 室内音の残響低減を有効または無効にします。 |

| | |
|---|---|
| PHONE IN 端子 | ● **PHONE IN**: VC520 Pro3 マイクスピーカーの PHONE IN 端子とスマートフォンを 3.5mm ステレオミニケーブルで接続します。スマートフォン音声を Web 会議ソフトウェアに転送することができます。<br><br>● **PHONE IN 端子(マイクのみ)**:VC520 Pro3 マイクスピーカーの PHONE IN 端子と外部マイクを 3.5mm ステレオミニケーブルで接続します。この設定を選択時、「**外部マイクのみ」のマイク音声が出力されます。**<br><br>● **PHONE IN 端子(マイク MIX)**: VC520 Pro3 マイクスピーカーの PHONE IN 端子と外部マイクを 3.5mm ステレオミニケーブルで接続します。この設定を選択時、「**VC520 Pro3 のマイクスピーカーのマイクと外部マイクが MIX された状態」のマイク音声が出力されます。** |
| HDMI 音声 | HDMI 出力時、音声出力を行うオーディオソースを選択します。<br>● オフ<br>● ローカルマイク(自分側のマイク音声)<br>● リモートサウンド(相手側のマイク音声)<br>● ローカルマイク + リモートサウンド |
| HDMI 出力同期 | この機能は、HDMI 音声の設定にて「リモートサウンド」が選択時のみ有効。<br>HDMI 出力の同期モードを選択<br>● **自動**<br>● **手動**: 項目下のスライダーをスライドし、<br>HDMI 出力音声の遅延時間 (0～500 ms) を調整します。 |
| RTSP/RTMP オーディオ | IP 配信時(RTSP/RTMP)、音声出力を行うオーディオソースを選択します。<br>● オフ<br>● ローカルマイク(自分側のマイク音声)<br>● リモートサウンド(相手側のマイク音声)<br>● ローカルマイク + リモートサウンド |